

石灰化を伴う浅大腿動脈病変に対する編み込み型 ナイチノールステントを用いた血管内治療の実態調査

本研究の目的は、大腿膝窩動脈領域(FPA: Femoropopliteal Artery)に石灰化を含む動脈硬化性病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症(PAD: peripheral artery disease)患者に対する、編み込み型ナイチノールステント(Interwoven nitinol stent)である SUPERA ステントを用いた血管内治療(EVT: Endovascular Therapy)の実臨床における12ヶ月の治療成績の実態を明らかにし、その関連因子を探索することです。本研究を実施することにより、石灰化を伴う浅大腿動脈病変における SUPERA を用いた血管内治療成績およびその成績に関連する因子の詳細が明らかとなり、本研究で得られた知見は、今後の PAD 診療に大いに役立つものと考えます。

本研究は国が定めた「臨床研究に関する倫理指針」を遵守し、当院での臨床研究倫理委員会(臨床研究の実施または継続に、倫理的観点及び科学的観点から、及び審議する委員会)においてその科学性・倫理性について厳重に審査され、病院長の承認を受けて実施されます。